

# 令和2年度 学校教育活動の工夫について

川西市教育委員会

今回の臨時休業に伴い、登校日数が大幅に減り、各校においては、年度当初に予定していた授業計画を大幅に見直す必要があります。兵庫県教育委員会からの通知「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の工夫について」を受け、本市教育委員会としては、子どもの学びを保障すること、年度内で予定の学習内容を終えることを目指します。そこで、以下の取組を進めていきます。



## 1 授業時数の確保に努めます。

### ①「学びの保障」を目的として柔軟に教育活動や時間割を編成します。

県からの新たな通知により、各校とも柔軟に教育活動や時間割を編成することができるようになりました。ただし、子どもや教職員にとって過重な負担にならないよう、また、下校時刻が極端に遅くならないよう気をつけながら、各校の実情に応じて、時間割を柔軟に設定することとしています。これにより、学級活動、学校行事、学年行事、体験活動、前年度未指導分などを補充する「学びの保障」の時間、コロナウィルス感染予防対策や教育相談の充実の時間の確保につなげます。なお、1学期の通知表につきましては、小学校は1・2学期をまとめて2学期末に通知し、中学校は夏期休業後、9月中旬までに通知、川西養護学校は例年通り1学期末に通知します。

### ②「学校行事」の精選を行います。

教科学習を優先して行うことや感染予防の観点から、学校行事を精選します。一方、学校行事や体験活動は、子どもたちの成長にとっても大切なものと考えられることから、実施の有無や内容・方法について、以下のように見直しを行います。

| 行事名等           | 方 針                                                                                |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 運動会、体育大会       | 小学校は、運動会を実施しません。各校の実情に合わせて、体育の授業参観等を検討することとします。中学校は、開催規模を縮小し、生徒のみの参加による体育大会を実施します。 |
| 音楽会、合唱コンクール    | 中止とします。                                                                            |
| 環境体験学習（小3）     | 2学期以降に、基本、1日間実施します。                                                                |
| 里山体験学習（小4）     | 中止とします。                                                                            |
| 自然学校（小5）       | 2学期以降に、日帰りの活動として、2日間実施します。                                                         |
| 教育キャンプ（川西養護学校） | 2学期以降に、1日間実施します                                                                    |
| トライやる・ウィーク（中2） | 2学期以降に、1日間実施します。                                                                   |
| 修学旅行           | 2学期以降に、実施します。                                                                      |

### ③夏休みを短縮し、授業時数を確保します。

臨時休業に伴い、授業時数を確保するため、夏休みを右表の通り短縮します。

|      | 長期休業の期間       |
|------|---------------|
| 夏季休業 | 8月8日 ～ 8月16日  |
| 冬季休業 | 12月26日 ～ 1月7日 |
| 春季休業 | 3月26日 ～ 調整中   |



以上により、学習指導要領で定められた標準時数からさらに70～150時間（学年による）程度、授業時数を確保します。



## 学校での感染拡大防止の取り組みについて、ご理解とご支援をお願いいたします。

持続可能な「学校の新しい生活様式」を確立していくため、学校現場の取り組みについては、基本的には手洗いなどの手指消毒の徹底や校内の定期的な消毒作業、三密の回避を徹底することが最重要であると考えています。特に、三密の回避については、三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）が重なる部分をできるだけ少なくする取り組みが中心となります。子どもや保護者・地域の方々と共に、知恵を出し合いながらその様式を創り上げていくという理念の下、ご協力をお願いいたします。



## 学習の定着状況に応じて、きめ細やかな対応を行います。

小中学校については、子どもたちの学びの保障や学習意欲を育むことを優先に考え、学習の定着状況を把握し、授業中に補充的な内容を扱ったり、必要に応じて、放課後に学習できる場を設けたりするなど、きめ細やかな対応を行います。その取り組みを進めていくために、地域人材等を活用した「学習指導員」を順次、各校配置してまいります。



川西養護学校については、入出力支援装置（視線入力装置、音声読み上げソフト等）を導入してまいります。



## 子どもたちの心に寄り添ったサポートを行います。

学校再開に伴い、感染症への恐れや学校生活への不安等、心理的ストレスを抱えている子どもがいることが考えられます。まず、学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察を行い、子どもたちの状況を的確に把握するよう努めます。ご家庭と学校の連携をさらに深めるとともに、学校においてはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した教育相談の充実を図り、子どもたちの心のサポートを行います。どうぞお気軽に学校までご相談ください。



また、教師が、子どもたちの学びの保障に注力できるようにするため、教師の業務をサポートする「スクールサポートスタッフ」を順次、各校配置してまいります。



## 子どもたちの家庭学習を支援します。

子どもたちの学力向上だけでなく、自発的な学習意欲の育成や新型コロナウイルス感染症第2波等による学校の臨時休業に備えた家庭学習支援の取り組みを進めていきます。



※各校において、具体的な工夫は異なります。お子様の学習について不安な点がございましたら、学校へご相談ください。

※今後、状況の変化があった場合には、本資料の内容について再度検討し、見直します。

本件に関する問い合わせ

川西市教育委員会 学校教育課

**TEL** 072-740-125